

6. 常盤地区

(1) 常盤地区の地勢と人口の推移

常盤地区は、市の南側に位置し、丹生川と綱木川の間には鶴子、六沢の集落が形成され、周囲には優良な農地が広がっています。また、隴気川沿いに細野の集落が形成され、主要地方道尾花沢関山線沿いに畑沢、一般県道鶴子尾花沢線沿いに古殿、延沢の集落があります。

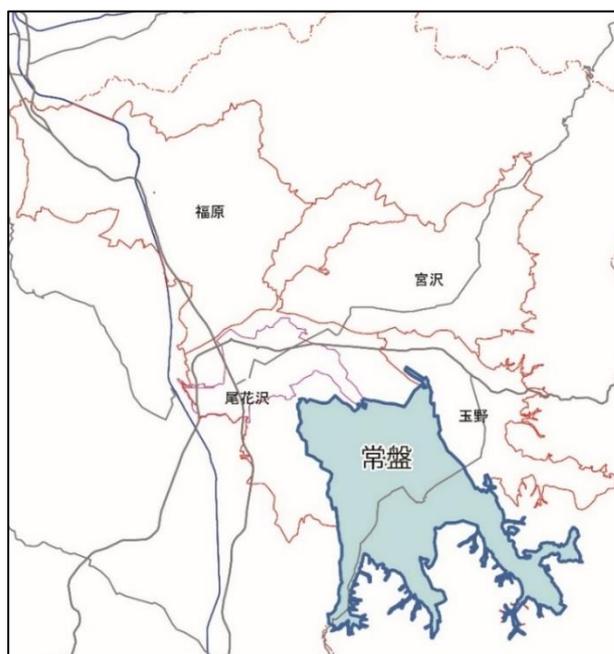


図 常盤地区位置図

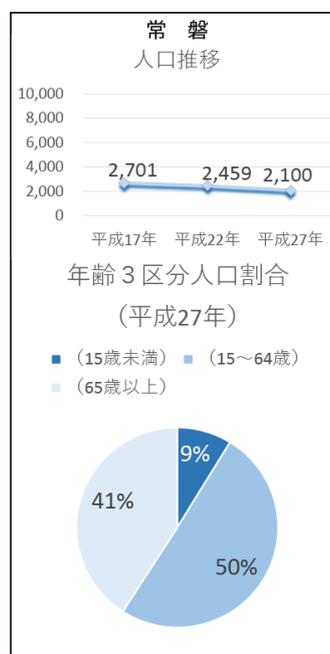


図 人口推移と年齢3区分人口割合

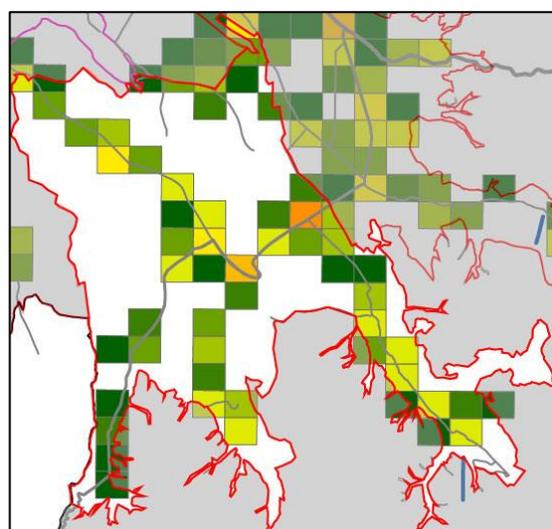


図 500m人口メッシュ

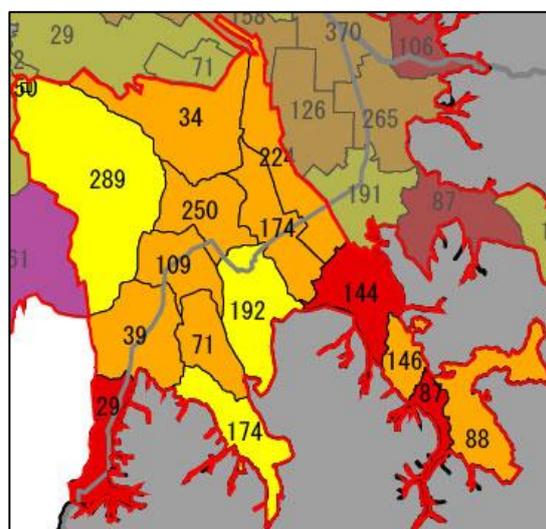


図 人口増加率

<人口推移の状況>

常盤地区は5地区の中で最も高齢化率が高くなっています。尾花沢地区に近い古殿や域外交流が盛んな細野等では人口の減少が抑制されていますが、山間部に近い鶴子の一部や畑沢において人口減少率が大きくなっています。

(2)常盤地区の特性と現況について

(常盤地区の特性)

- ・常盤地区は主に一般県道鶴子尾花沢線や主要地方道尾花沢関山線沿いに集落が形成されています。延沢は延沢城の城下町として集落が形成され、延沢城跡等歴史文化的な資源が残っています。また、本地区は、細野や鶴子など集落内でそれぞれのコミュニティが形成されている集落が多く、他地区との交流も盛んです。御所山県立自然公園や本市の農業の水源地である新鶴子ダム、高原リゾート地である花笠高原など多くの自然資源を有しています。特に、花笠高原は本市観光交流拠点の一つとなっています。

(主要施設・交通インフラ・自然環境・防災)

- ・延沢(三日町)に地区公民館、鶴子に鶴子交流施設があり、地域コミュニティの中心となっています。生活関連の施設は、延沢(九日町・三日町)、六沢、鶴子を中心に商業施設が立地しており、延沢(九日町・三日町)に教育施設として常盤小学校、保育施設としてときわ保育園があります。
- ・市街地と鶴子を結ぶ一般県道鶴子尾花沢線、玉野地区と村山市を結ぶ主要地方道尾花沢関山線が地域の骨格道路です。また、主要道路沿線にバス路線があり、各集落において概ねバスの利用が可能です。
- ・細野周辺には御堂森、大平山等の山の緑が広がり、観光拠点となっている花笠高原からは集落を一望できる美しい自然景観が広がっています。
- ・隴気川流域の農地周辺を中心に洪水浸水区域があり、延沢と鶴子、畑沢、細野の一部に土砂災害の危険性のある区域が広がっています。

(3)まちづくりの目標と方針

●まちづくりの目標

「歴史文化と自然資源を活かした交流盛んなまちづくり」



<まちづくりの方針>

- ①地区内集落を繋ぐ交通ネットワークの形成と延沢城跡等伝統文化の継承
- ②市街地～鶴子を繋ぐ骨格道路の維持と利便性の高い公共交通の整備
- ③花笠高原における観光交流機能の強化と域外交流の更なる促進
- ④朧気川周辺の洪水浸水区域と地区内の土砂災害警戒区域における適切な防災対策

①地区内集落を繋ぐ交通ネットワークの形成と延沢城跡等伝統文化の継承

・常盤地区は、延沢(三日町)に地区公民館、鶴子に鶴子交流施設があります。地区内において地域コミュニティ等集落機能の維持が図られるよう、タクシー等を活用した集落内での移動手段の確保や各集落とコミュニティ施設等の主要施設を結ぶバス、タクシー等を活用した交通ネットワークの形成を図ります。また、国指定史跡延沢銀山遺跡の一部である延沢城跡の保存、活用を図ります。

②市街地～鶴子を結ぶ骨格道路の維持と市街地を繋ぐ公共交通の確保

・関係機関と連携しながら、市街地と観光拠点を結ぶ一般県道鶴子尾花沢線や玉野地区と常盤地区を結ぶ主要地方道尾花沢関山線の維持管理を進めます。また、通学や医療機関への通院等市街地を結ぶ利便性の高い公共交通の整備を推進します。

③花笠高原施設の機能強化と域外交流促進による地域の活性化

・本市の観光拠点の一つである花笠高原施設については、利用者ニーズに応じた適切な施設更新を図るとともに、銀山温泉や徳良湖を結ぶ市内観光周遊ルートの構築を進め、観光交流人口の拡大を図ります。また、鶴子や細野等で実施している域外交流の更なる促進を図り、地域の活性化に努めます。

④朧気川沿岸の農地の保全と土砂災害防止対策の継続的実施

・朧気川沿岸を中心に、洪水浸水区域が広がっていることから、関係機関と連携しながら適切な洪水浸水対策を進め、優良農地の保全を図ります。また、延沢(九日町)、鶴子、畑沢、細野の土砂災害防止対策について関係機関と連携しながら、継続して実施していきます。

